

元札幌市長

桂信雄氏を悼む

平成3年から平成15年まで、札幌市長を務められた桂^{かみ}信雄^{のぶ}氏が、去る11月16日、90歳でお亡くなりになりました。桂氏は昭和28年に市役所に入庁。札幌市長を退任されるまでのおよそ50年間、札幌市の発展のために尽力されました。桂氏の数々のご功績に感謝と敬意を表するとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



世界に誇る都市を目指し
半世紀にわたり市政に貢献

桂氏は昭和28年に札幌市職員となり、北区長や教育長などを歴任。現在の副市長に当たる助役を務めた後、第8代札幌市長として、平成3年から3期12年間務められました。初の札幌生まれ・市役所生え抜きの市長でもあり、21世紀へと社会が大きく変遷する節目の時代において、市政のかじ取り役を果たされました。

住民福祉の向上や 都市基盤の拡充に尽力

桂氏は生活に密着した政策に重点を置き、福祉の充実や除雪・ごみ対策などに注力されました。公正・中立な立

桂信雄氏の略歴

昭和5年	札幌市で出生
昭和28年	北海道大学法経学部卒業。札幌市に奉職
昭和47年	北区長に就任
昭和50年	企画調整局長に就任
昭和54年	教育長に就任
昭和58年	札幌市助役に就任
平成3年	札幌市長に就任
平成15年	札幌市長を退任



▲平成9年に完成したKitaraでこけら落としとして行われたコンサート



▲清田区役所開庁時の式典に参加する桂氏(写真中央・平成9年)

場で市政に関する苦情を調査するオンブズマン制度の導入や、日本初の自治体コールセンターの開設など、市民サービス向上のためのさまざまな施策を積極的に進められました。

また、市民生活をより豊かにするため、札幌らしい文化の創造を目指し、札幌コンサートホールKitara^{キタラ}の開設を主導されました。スポーツの分野では、2002 FIFAワールドカップTMの会場となった札幌ドームを建設。開催とともに、市内は熱気に包まれました。

このほか、地下鉄東豊線（豊水すすきの〈福住間〉と東西線（琴似〈宮の沢間〉）の延伸、豊平区から分區した清田区の誕生に携わるなど、現在の札幌に欠かせない、数多くの功績を残されました。